

不払い・融資・くらしなんでも相談会

11月25(木)は法律・11月26日(金)は税務の専門家が相談に応じます。12月は**法律が14日(火)**・税務は15日(水)です。各日13:30から1人30分、各4組の相談に対応します。※30分を超える相談は後日に有料での相談となります。要予約03-3986-2471豊島支部事務所

# けんせつ北部

(購読料は組合費の中に含まれています)  
定価三十円

発行所  
東京土建一般労働組合  
城北ブロック会議  
東京都豊島区西池袋5-22-15  
電話 豊島 (3986) 2471  
北 (5390) 6021  
板橋 (3963) 5325  
練馬 (3825) 5522  
発行人代表者 川合正人  
発行予定日 毎月4回  
1日、9日、17日、25日

## 第44回 住宅デー 11月14日

# 豊島区内5会場で開催



包丁の仕上りを待つ来場者

来年はコロナの心配をすることのない、いつも通りの住宅デーになることを願っています。

住宅街の都電通りの脇の公園での開催なので、人の流れが多くあるとは言えないのですが、それでも包丁研ぎ71本、小物ラック15セット、来場者は65人でした。住宅相談は残念ながら、0件でした。

今回は、木っ端トイやすトラックアウト等のことも向け企画がないため小学校への案内を控え、包丁研ぎに来た方からは「今日は焼きそばはないの。残念だわ」、「掲示板を見てきました」という声がありました。

町会の掲示板に前もって貼ってもらい、チラシは前日に撒きました。今回は、木っ端トイやすトラックアウト等のことも向け企画がないため小学校への案内を控え、包丁研ぎに来た方からは「今日は焼きそばはないの。残念だわ」、「掲示板を見てきました」という声がありました。

【文・新井陸子】南池袋分会は南池袋第2公園(通称らくだ公園)で開催しました。

### 南池袋分会

【文・市川和成】上池袋本町分会は7時30分に池本だんだん公園に準備のために集合し秋の住宅デーを開催しました。

### 上池袋本町分会

万全な感染症対策を実施するため、検温や消毒だけではなく、参加者全員が抗原検査を行いました。

今年には新型コロナウイルスの感染拡大により春の住宅デーが延期され、その影響からか例年以上に包丁研ぎを頼みに来る方が多く、88人が来



抗原検査で安全確認

で研げる様子が「ばらう」、「1年ぶりの開催で地域の人々と接する事ができて良かった」などの言葉が交わされ、たくさんの方の成果があった住宅デーとなりました。

場し、包丁とハサミ研ぎは202本・まな板削りは9枚となり、熟練の職人達が昼食を食べる暇もなく、一生懸命に研ぎ続けました。ちびっ子たちには好きな色の風船を配ったので「わーい!」とほしやき回り、奥様たちはピカピカになった包丁を持って「ありがとう!」、「次の開催はいつ?」などと言いながら喜んで帰ってくれました。撤収作業は16時ごろまでかかりましたが、その後の反省会では「いまままで包丁の本数が1番多かった」、「次回からは機材を充実させてより多くの人数で研げる様にがんばろう」、「1年ぶりの開催で地域の人々と接する事ができて良かった」などの言葉が交わされ、たくさんの方の成果があった住宅デーとなりました。

### さくら分会

【文・野本陽子】さくら分会は染井まちづくりセンターで住宅デーを開催しました。

例年は公園での開催でしたが、今回のまちづくりセンターは細い道が入り組み、少し分かりづらい所なので来場者の方に分かってもらえるか心配でした。

ところが、受付開始の10時になると、近所の方々が次々と包丁を持って来場



さくらは青年部員も研いでます

【文・伊藤寿】新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2度の開催延期を余儀なくされましたが、包丁研ぎ・住宅相談を中心とした第44回住宅デーを開催することができました。

会場を支部会館として、初となる池袋分会・かなめ分会合同での開催となりました。

### かなめ・池袋分会



椎名町分会は急遽手書き看板で集客

反省会では住宅相談の件数が伸びなかった点を話し合ったほか、縮小開催では物足りない、みんなでやると楽しいといった意見も聞かれ、来年の住宅デーが今から楽しみです。

### 椎名町分会

【文・田中承宏】昨年同様に感染対策を行い、椎名町公園で規模を縮小しての開催となりました。

今年にはコロナ禍で教育委員会の後援を受けることができず、参加者の大幅な減少が予想されましたが、晴天のためか、例年と同様の来場者数となりました。



木工教室は和田青年部長が先生に

【文・田中承宏】昨年同様に感染対策を行い、椎名町公園で規模を縮小しての開催となりました。

【文・伊藤寿】新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2度の開催延期を余儀なくされましたが、包丁研ぎ・住宅相談を中心とした第44回住宅デーを開催することができました。

【文・伊藤寿】新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2度の開催延期を余儀なくされましたが、包丁研ぎ・住宅相談を中心とした第44回住宅デーを開催することができました。

燃している。そもそも466億円の予算が組まれたアベノマスクだが、発注先も公表を洗っていたがメディアに騒がれ公表したものの、福島県にあるNITに電話登録もなく、ホームページも持たない無名の会社が突然政府から高額な仕事を受注する不自然さも当時は大きく報じられました。そんなアベノマスクがどうやら8千万枚以上も配布されずに、倉庫に保管されていることが新たに報じられた。金額にすると115億円にもおぼろ、またその保管料だけでも年間6億円も掛かっているようだ。保管料だけでも一般的なサラリーマンの生涯年収の2〜3倍もある。また、8千万枚のマスクがどれだけの質量になるかは分からないが、貸倉庫を借りるにしても毎月5千万円もの保管料が掛かるのも、耳を疑ってしまうレベルの金額ではないだろうか。零細企業でこんな失敗を起こしたら担当者には解雇されるどころか、会社の存続事態が危ぶまれるだろう。そしてこのアベノマスクのツケは全て国民に押し付けられる。国民が選挙で選んだ結果がこうなると政治家に大切な国の舵取りをさせてしまっていることを考えなくてはならない。【N】

